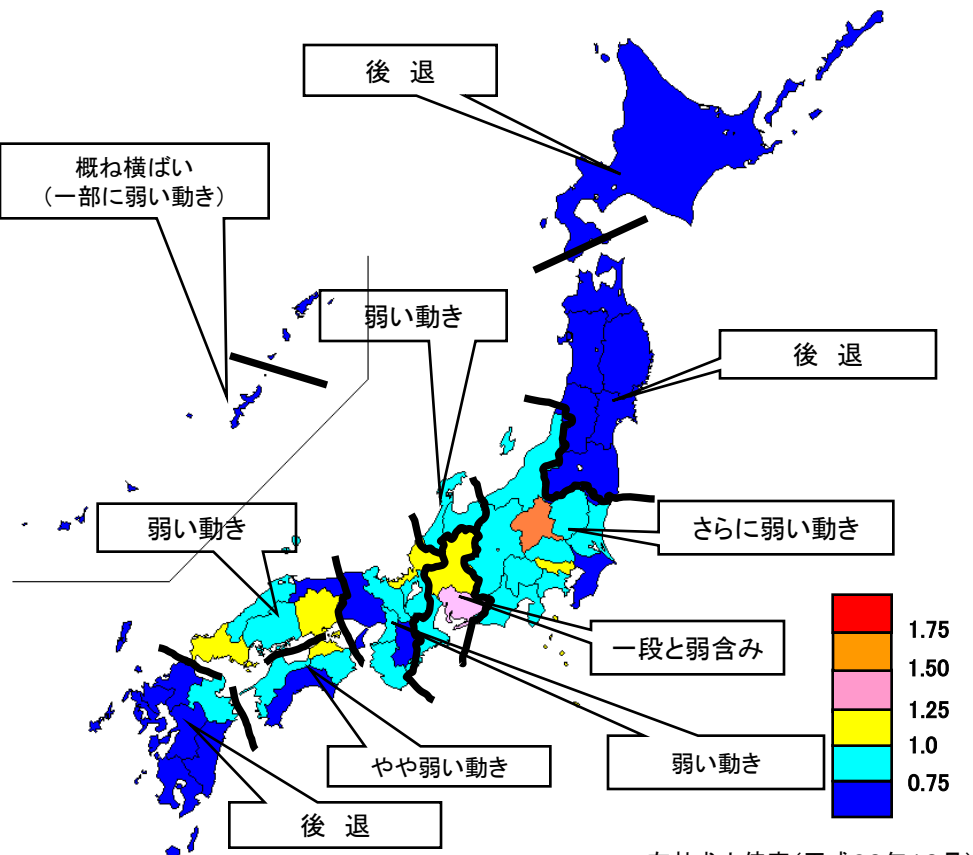


全地域で景況判断を下方修正 (地域の景況は、一段と弱い動き)

～ 金融不安による世界経済の減速、円高等の影響から景況感は急速に悪化～

	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)	20年9月 (第25回)	20年12月 (第26回)
全国	↘	↘	↘	↘	↘
	緩やかな改善傾向にあるもの、ばらつきがみられる。	緩やかな改善傾向にあるもの、一部に弱い動きがみられる。	概ね横ばいで推移するも、一部に弱い動き。	ばらつきがあるものの総じて弱い動き	一段と弱い動き



	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)	20年9月 (第25回)	20年12月 (第26回)	コメント	有効求人倍率 ※ 全国平均 0.80
北海道	→	→	↘	↘	↘	世界的な景況減速懸念から業況は悪化。生産は低下傾向、設備投資は一部に抑制の動き、雇用は厳しい状況、個人消費は一段と弱い動き。	0.48 (0.45)
東北	→ (先行きに不透明感)	横ばいで推移	横ばいで推移	弱い動きとなっている	後退している	需要減で業況は悪化。生産は低下傾向、雇用も厳しい状況。消費マインド冷え込みで個人消費弱含み。	0.54
関東	↘	→	↘	↘	↘	生産が急速に低下しつつあり設備投資の抑制や雇用情勢の悪化へと波及。個人消費も冷え込む等総じて厳しい状況。	0.91
中部(東海)	→	→	↘	↘	↘	自動車関連など輸出型産業の業況が急激に悪化。生産減に加え、非正規労働者の削減や投資先送りの動きも。	1.24
中部(北陸)	→	↘	↘	↘	↘	業況は悪化しつつある。生産は低下傾向、設備投資は弱含み、雇用、個人消費はともに弱い動きとなり、総じて弱い動き。	0.94
近畿	↘	→	↘	↘	↘	輸出が79ヶ月ぶり減少。設備投資の抑制や減産に伴い、生産は緩やかに低下傾向。雇用も悪化しつつあり、総じて弱い動き。	0.83
中国	↘	→	↘	↘	↘	堅調であった化学や鉄鋼、自動車で減産の動きが広がり、大型店販売額の前年比マイナスが続くなど、総じて厳しい状況。	0.95
四国	→	↘	→	↘	↘	生産が需要減少により弱含み。設備投資で縮小、先送りや、雇用調整もみられるなど、全体としてはやや弱い動き。	0.80
九州	↘	→	↘	↘	↘	輸出が減少し生産は低下傾向で推移。設備投資は弱含みで雇用は悪化している。総じて後退。	0.57
沖縄	→	↘	↘	→	↘	観光需要は堅調。個人消費における節約志向が持続。失業率は上昇に反転。全業種で国内景気動向の影響を懸念。	0.34

※月間有効求人倍率 10月(季節調整値)資料 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成